

松山藩藩主の御殿屋敷  
備中松山城御根小屋跡



指定区分	県指定史跡
読みかた	びっちゅうまつやまじょうおねごやあと
所在地	高梁市内山下(県立高梁高等学校)
指定年月日	平成3年4月5日
解説	備中松山城がある小松山の南西麓にある。備中松山城は山城で不便なため、松山藩藩主は山麓に御根小屋と呼ぶ御殿屋敷を構え、そこで起居・藩の政務を行った。備中松山城を「山城」と呼ぶのに対し、御殿を一般的に「お城」と呼んでいた。県立高梁高等学校となっているが、現在でも総延長800mを超える石垣や中庭などは旧状をよくとどめている。
アクセス方法	JR伯備線備中高梁駅から徒歩約20分
公開状況	外観のみ
設備	近隣の有料駐車場(高梁市観光駐車場等)を利用 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>駐車場</span>  <span>トイレ</span>  </div>
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	備中松山城御根小屋跡
よみかた	びっちゅうまつやまじょうおねごやあと
しよざいち (所在地)	高梁市内山下(県立高梁高等学校)
していたひ (指定した日)	平成3年4月5日
せつめい	備中松山城(びっちゅうまつやまじょう)の殿(との)さまは、山の上にある城(しろ)が不便(ふべん)なため、ふもとに御殿屋敷(ごてんやしき)をつくり、普段(ふだん)はここで生活(せいかつ)や仕事(しごと)をしていました。今はこの御根小屋跡(おねごやべやあと)は高梁高校(たかはしこうこう)となっています。長さ800メートル以上の石垣(いしがき)や御殿の中庭(なかにわ)などが残(のこ)っています。